

栃木県立那須特別支援学校

進路のてびき

基本編

進路指導（支援）とは？

◆一人一人が社会の中で、それぞれのもつ力を十分に発揮し、豊かで充実した生活が送れるように指導・支援していくこと。

進路指導（支援）は、学校卒業後の進路先を決定するだけのものではありません。

進路指導（支援）という言葉、広い意味で捉えた「進路指導は生き方の指導である」という言葉があります。一人一人が社会の中でそれぞれのもつ力を十分に発揮し、豊かで充実した生活が送れるように指導・支援していく、という視点が重要であると考えます。

また、「進路指導は小学部の時期から始まっています」という言葉も、よく耳にする言葉です。しかし、「子供はまだ小学部だから、将来の進路なんてイメージできない」とおっしゃる保護者等が多いのも事実です。

卒業後の生活を豊かで充実したものにするために必要とされる力は、「働く力」だけではありません。食事やトイレなどの身の回りに関する「生活する力」や、挨拶や返事からはじまる「コミュニケーション能力」、「余暇活動を楽しむ力」など、多岐にわたります。これらの力は、学校卒業が目前に迫った高等部の3年間だけで身に付くものではありません。それぞれの年齢段階で、その時々課題をクリアしていくこと、その時々生活の充実を目指し、それを積み重ねていくことが大切です。

進路指導（支援）は、何も特別なことではありません。日々の生活の充実を目指し、それを積み重ねていくことが、将来の豊かで充実した生活に結び付いていくのです。小学部から高等部まで共通したものとして、次の2点を大切にしたいものです。

- 自分のことは自分でやろうとする気持ちを育てましょう。
- 身の回りのことをはじめとして、一人でできることを少しずつ増やしていきましょう。

小学部における指導

◆「身辺処理、人間関係等、この時期の生活を自立的に行えるようにすることが進路指導」と考え、丁寧に積み上げましょう。

【日々の学習では…】

- ① 学校生活に慣れ、見通しをもって生活できるようにする。
- ② 身辺処理能力（食事、排せつ、衣服の着脱など）を高めるようにする。
- ③ 挨拶、返事ができるようにする。
- ④ 遊びや学習を楽しみ、十分に活動できるようにする。
- ⑤ 友達と仲良く遊べるようにする。
- ⑥ 遊びを含め、日常生活に必要な決まりを守れるようにする。
- ⑦ 係活動を通して、仕事をすることや責任感を身に付ける。

【保護者等の立場から…】

- ① 日々の学習や生活のすべてが、進路につながるという意識をもつ。
- ② 規則正しいリズムで家庭生活が送れるようにする。
- ③ 高学年になったら、中学部の授業や作業を参観する。
- ④ 家庭における手伝いを通して、自立するための土台を作る。

中学部における指導

◆「学習や経験の広がりや深まり」を大切に、自己選択できる人に育てましょう。

【日々の学習では…】

- ① 必要に応じた挨拶や返事ができるようにする。
- ② 時間を意識して行動できるようにする。
- ③ 公共の施設や乗り物を利用できるようにする。
- ④ 作業学習や校内実習を通して、働く力（体力、意欲、持続力、集中力など）を養う。
- ⑤ 校内実習や職場見学などを通して、自らの進路に対する意識をもつことができるようにする。
- ⑥ 与えられた役割を通して責任感を養う。
- ⑦ 進学準備をする。

【保護者等の立場から…】

- ① 子供と年齢相応に接し、自分でできることを増やしていけるようにする。
- ② 進路に関する調査や面接を機に、進路に対する方向付けを行っていく。
- ③ 高等部の学習や実習の様子、施設や事業所を参観する。
- ④ 在学中から卒業後に向けて障害福祉サービス等を利用した居場所づくりを行う。

高等部における指導

◆「希望する進路先へのスムーズな移行を目指した指導」を意識しましょう。

【日々の学習では…】

- ① 卒業後の社会生活を円滑に送るために基本的生活習慣の定着を図り、日々の生活に生かす。
- ② 働くことや社会参加することの意義が理解できるようにする。
- ③ 卒業後の生活に適応できるように、現場実習を計画的かつ段階的に組み入れる。
- ④ 卒業後の生活に生かせるような余暇指導を組み入れる。
- ⑤ 金銭管理や公共の施設・交通機関などの利用について学習を進める。
- ⑥ 性に関する指導を行う。

【保護者等の立場から…】

- ① 進路は、本人と保護者等が一緒になり、主体的に決定することを意識する。
- ② 学校との話し合いを密にし、協力して進路開拓を進められるようにする。
- ③ 生徒に最も適した進路先を選択できるように、情報を収集する。

本校高等部卒業生進路先状況（年度別）一覧

年度	就職	障害者支援施設									児童福祉施設		在宅	合計
		地活	日中	生介	療介	入所	生訓	移行	継続A	継続B	通所	入所		
R2	8	0	0	12	3	0	4	2	1	6	0	2	0	38
R3	10	0	1	14	0	0	3	4	4	8	0	1	0	45
R4	4	1	0	12	1	0	3	0	2	8	0	0	1	32

※単位：人

印刷・発行：令和5年4月

編集：栃木県立那須特別支援学校 進路指導部

印刷：栃木県立那須特別支援学校